

平成25年度決算の概要について

< ポイント（一般会計） >

決算時において、臨時財政対策債の借入れ及び財政調整基金の取崩しを行いませんでした。
市税等収納率は、納税者の皆様のご理解・ご協力及び担当職員の努力により、平成24年度を上回る98.8%、多摩26市中1位の結果となりました。

経常収支比率は健全化取り組みの効果などにより、前年度比で3.7ポイント改善され、96.1%となりました。

一般会計	平成25年度	平成24年度	主な増減理由等
歳入総額(千円)	26,157,814	26,951,533	小学校エアコン設置事業の終了に伴う投資的事業の減少などにより歳入・歳出額が減
歳出総額(千円)	25,660,705	26,563,103	
翌年度繰越財源(千円)	100,207	30,185	(明許繰越・事故繰越分)
実質収支(千円)	396,902	358,245	(翌年度繰越額)
実質単年度収支(千円)	222,250	71,994	25年度実質収支(396,902)-24年度実質収支(358,245)+25年度財調基金積立額(183,593)+25年度地方債繰上償還額(0)-25年度財調基金取崩額(0)
市税収納率(%)	現年度分99.4 滞納繰越分54.0 合計98.8	現年度分99.4 滞納繰越分53.9 合計98.3	< 参考: 国保税 > H25: 現年95.3 滞繰47.1 合計89.2 H24: 現年94.2 滞繰45.6 合計85.2

一般会計	平成25年度	平成24年度	主な増減理由等
経常収支比率(%)	96.1 (96.1)	99.8 (97.5)	税連動交付金の増、勸奨退職制度の導入、一部事務組合負担金の減、資本費平準化債導入による繰出金の減等が扶助費、物件費等の伸びを吸収 カッコ内は分母に赤字地方債を含む場合
基金年度末残高(千円) 定額運用基金・特別会計基金除く	4,918,251 (5,651,119)	4,232,179 (4,949,948)	道路及び水路整備基金積立 + 439百万円 財政調整基金取り崩し0円 財政調整基金積立 + 183百万円 カッコ内は全会計・全基金
臨時財政対策債発行額(千円)	0	350,000	
地方債年度末残高(千円)	13,956,038	14,857,349	元利償還が進んだことによる

特別会計	平成25年度	平成24年度	主な増減理由等
国民健康保険歳入総額(千円)	7,257,244	7,192,454	後期高齢者支援金及び介護納付金の増
国民健康保険歳出総額(千円)	7,188,375	7,106,437	
下水道事業歳入総額(千円)	2,610,357	2,628,301	下水道管建設工事費等の減
下水道事業歳出総額(千円)	2,554,828	2,582,375	
下水道事業特別会計 地方債年度末残高(千円)	11,526,231	12,239,907	元利償還が進んだことによる
介護保険歳入総額(千円)	4,875,947	4,746,296	給付費等の増
介護保険歳出総額(千円)	4,788,947	4,608,316	
後期高齢者医療歳入総額(千円)	1,480,562	1,446,335	給付費等の増
後期高齢者医療歳出総額(千円)	1,433,157	1,414,645	